

日南海岸サイクルツーリズム協議会 昨年度までの取組とH29年度検討内容

1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会の概要	1
2. H29年度の進め方	2
3. H29年度の検討内容	3

平成30年3月26日

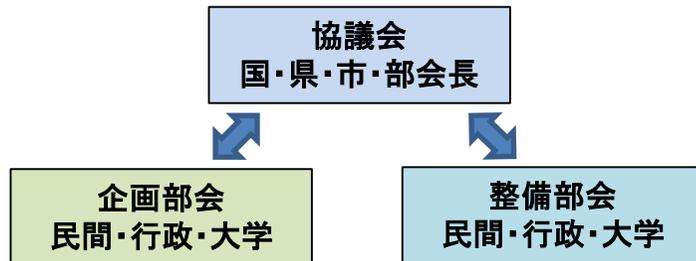
1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会の概要

日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立
 本協議会には、作業部会として**企画部会**、**整備部会**を設立
 イベント企画や施設整備の実施により、自転車愛好家や観光客の増加、自転車の利便性向上、更に地域交流による賑わいの創出を図る
 これまでに協議会を3回、企画部会を3回、整備部会を3回実施

日南海岸サイクルツーリズム協議会の目的

- 国道220号、448号を基軸に、両線に接続する県道、市道も一体的に
日南海岸サイクリングロード(サイクルツーリズム)として位置づけを行う
- 日南海岸サイクルツーリズムに伴う**企画及び環境整備**を行う
- 年間を通して日々利用しやすい**サイクリング環境を提供**する

日南海岸サイクルツーリズム協議会組織構成



▲協議会構成図

宮崎市、日南市、串間市、宮崎県
 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所
 宮崎大学
 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
 道の駅なんごう、道の駅フェニックス
 宮崎県サイクリング協会
 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会
 串間市サイクリング協会
 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所
 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光協会
 宮崎県警察本部

日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまで

- これまでに協議会を2回、企画部会を3回、整備部会を2回実施
 下記内容を議論
 企画部会: サイクリングルート
 整備部会: 自転車走行空間整備、自転車環境サポート整備
 協議会 : 日南海岸サイクルツーリズム構想(案)
- 第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会を実施

▼これまでの内容について

開催日	協議会内容
H27年10月30日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 ・協議会設置について ・自転車関連施策の現状 ・近年の県南地域における取組事例 ・今後の取組について
H28年1月15日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H28年2月1日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H28年2月23日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 ・日南海岸サイクルツーリズム構想(案) ・次年度の取組について ・「よってねポイント(休憩スポット)」の提案
H28年11月6日	社会実験開始(H29年3月30日まで)
H28年11月22日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H28年1月17日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H28年2月17日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H29年3月22日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会

2. H29年度の進め方

- 企画部会におけるサイクリングルート案の精査・提案に基づき、整備部会において、ガイドライン、手引き等の位置づけを整理して、「日南サイクルツーリズム整備の手引き」(仮称)の検討を進める。
- サイクリングルートの整備にあたっては、各道路管理者が適切な役割分担の下で今後の検討を進める。

ガイドライン・手引き等の位置づけ

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン【H28.7】

- I 自転車ネットワーク形成の進め方
 - ・自転車ネットワーク路線の選定等
- II 自転車通行空間の設計
 - ・安全で快適な自転車通行空間の設計に関する基本的な考え方

「日南サイクルツーリズム整備の手引き」(仮称)

- ・サイクルツーリズムに資する案内、誘導を主
- ・地域の実情に合わせた、ガイドラインの基準緩和や案内誘導のピクトグラム等を検討



企画部会

サイクリングルート案の精査・提案

各市

① ネットワーク計画の策定

宮崎市自転車安全利用促進計画 (H26.3策定済み)
今後、郊外部の追加を要する

日南市自転車ネットワーク整備計画(仮称)

串間市自転車ネットワーク整備計画(仮称)

市街地部

道路管理者

サイクリングルートの整備

郊外部

今後の検討手順

企画部会

整備部会

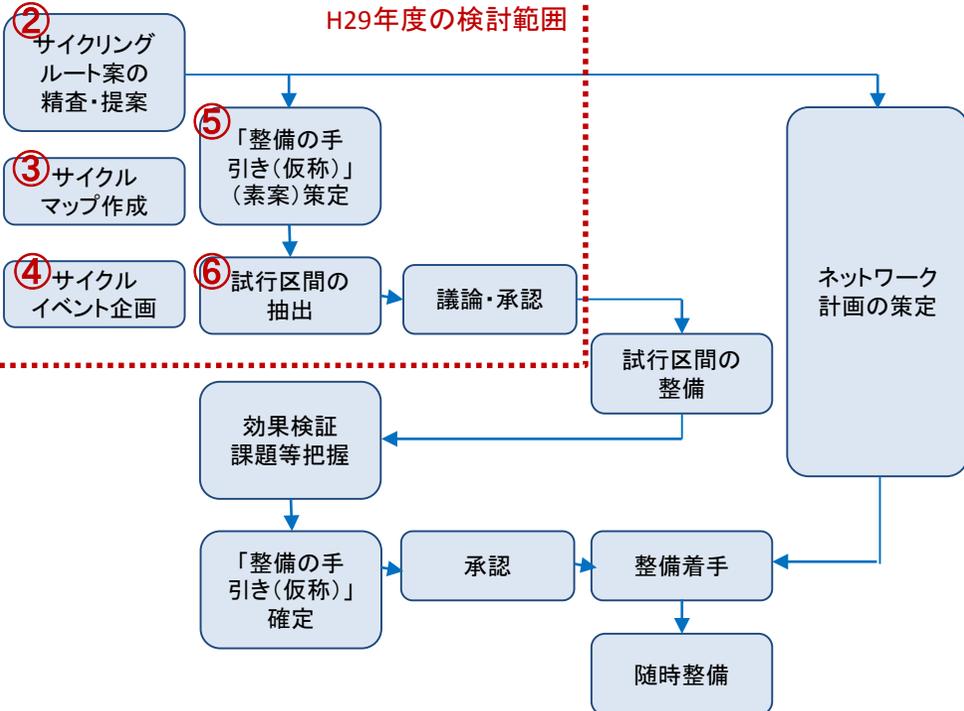
協議会

道路管理者

各市

日南サイクルツーリズム構想(案)

H29年度の検討範囲



3. H29年度の検討内容

組織	取組み内容	主な検討事項	H28年度検討		H29年度検討内容
			検討内容	協議会意見	
企画部会	(1)サイクリングロード	●モデルルート	○ルート(案)の設定(全10ルート) ・宮崎エリア ・日南エリア①～④ ・串間エリア①～④ ・日南串間エリア(恋人ロード)	○ルート(案)の精査 ・ターゲットと起終点設定に疑問 ・多様な交通モードとの連携 ・ルートの安全性を勘案したルートの見直し	①ネットワーク計画の検討 ・計画策定進捗状況の情報共有 ②ルート(案)の精査・提案 ・設定ルート検証(現地踏査)
	(2)ソフト施策	●サイクリングマップ ●情報発信 ●集客の仕掛け ●受け入れ意識醸成	○モニターツアー・情報発信の実施 ・サイクリング環境整備 ・ツアー実施&露店販売 ・収益活用の景観維持作業	○サービス機能の充実 ・休憩、修理、有料ガイド等の検討も必要	
整備部会	(3)ハード施策	●日南海岸における整備 ●車道混在の場合の整備 ●段差解消策	○ガイドライン改定内容紹介	○将来想定 of 考慮 ・東九州道の供用に伴う交通変化の想定が必要 ○路面の走行性 ・矢羽、リブ付白線上の走行性、静粛性の考慮が必要	③サイクルマップ作成 ・サービス機能充実の検討 ・ルートと共にサービス施設を整理 ④サイクルイベント企画 ・開催に向けた関係機関の連携 ⑤日南海岸版自転車通行空間整備の手引き(素案) ◎R220号の将来想定 ・自転車及びその他低速小型モビリティ(シニアカー等)の利用を含む ◎整備の基本的な考え方 ・誘導動線、誘導位置、表示方法等 ◎特殊区間における整備の方向性(狭小幅員、トンネル、広い幅員等) ※ETC2.0データの活用(下記参照) ◎誘導サイン ・サインシステムの考え方(素案) ・板面デザイン(素案) ・表示位置の考え方(素案) ◎休憩施設 ・施設整備に関わる検討 ・道路協力団体との連携検討
		●案内誘導サイン ●休憩施設	○社会実験の実施 ・案内サイン ・休憩施設の確保	○誘導ラインの色彩 ・日南地域の独自性(非ブルー) ・景観調和	

※ETC2.0データの活用

空間を共有する自動車交通の実態を把握(危険個所の把握)するため、以下の状況をETC2.0データから把握。

○速度: 旅行速度、速度のバラツキ(低速小型モビリティの走行に対して速度差が大きい。)

○加速度: 急ブレーキ箇所、急ハンドル箇所(低速小型モビリティを巻き込む可能性が高い。)

⑥試行区間の抽出

・優先順位やモデルルート等